

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	14-2	
PDCA	主要事業名	一般廃棄物最終処分場建設事業	部課名	市民経済部環境課	担当 内線	井戸 23-3567	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 2 単位施策： 循環型社会 全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 2,740,500 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.02.02.02.59					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 現在使用している最終処分場は令和6年度に埋立が終了する見込みであり、ごみ処理施設から発生する焼却残渣や破碎不燃物等を今後も適切に埋立処理するため、新たな最終処分場を建設する。					
		事業目的： ごみ処理施設から発生する焼却残渣、破碎不燃物等を適切に埋立処理するため、新たに最終処分場を建設する。					
		事業内容： 実施設計書に基づき、令和5年度から令和6年度にかけて建設工事を行う。					
		問題点： 知多南部広域環境センターからの焼却残渣等は各市町で処理するため、今後課題等： も最終処分場が必要となる。					
	予算額	主要事業とする理由					
	670,767 千円	現在使用している最終処分場が埋立終了した後も、焼却残渣等の埋立処理を継続していく必要があり、最終処分場建設事業は、廃棄物の適正な処理に重要な事業であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 77,488 千円	新たに最終処分場を建設することで、今後も継続的に適正な埋立処理ができる。					
	国費 164,179 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円	一般廃棄物最終処分場の建設を行う。						
その他 429,100 千円							
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果					
	518,931 千円	令和7年度からの供用開始を目指し、令和5年度から建設の始まった埋立地造成工事及び浸出水処理施設建設工事において、令和5年度の出来高目標値である25%を超えた施工をすることができた。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 埋立地造成工事及び浸出水処理施設建設工事において、令和5年度分の工事をスケジュール（工程）どおり施工することができた。半田市、施工管理者、受注者2社の調整会議を毎月回開催し、3か月先までの工程を示させることで情報を共有し、問題点等に余裕をもって対処することができた。 また、浸出水処理施設施工区域内の土壌は、施工前から汚染が確認されているため、水質のモニタリング調査を定期的の実施し、周辺環境に影響がないことを確認しながら施工を行う必要がある。					
	今後の事業の方向性	現状維持 埋立地造成工事及び浸出水処理施設建設工事においては、令和7年度からの供用を開始するため、施工管理者とともに工程を管理すること、及び頻発する資材の盗難に注意することで、工事の遅れ等が生じないように努める必要がある。また、水質のモニタリング調査結果を確認しながら、周辺環境に配慮した施工に努める。					
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	-	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	-	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用